※令和４年度以降入学生用

学校番号	106

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	（学）音楽芸術	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	配付プリント等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歌唱、器楽、創作、鑑賞の４つの活動を柱に学習を進めます。
・学習の到達度は、授業で配布するワークシートや実技テストで評価をします。また実技の評価は自己の音楽経験で大きく左右されないように形成的評価をします。つまり、今の自分から努力をして上達した部分を評価とします。
・音楽の授業を通して表現力を伸ばし、豊かな感性を高め、音楽が生涯ずっとみなさんの心の支えとなり、生きていく力となることを願っています。

2　学習の到達目標

音楽の諸活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の多様な音や音楽、音楽文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
（１）曲想と音楽の構造や文化的･歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めるとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
（２）音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら、個性豊かに音楽表現を創意工夫したり音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。
（３）主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を磨き、音楽文化を尊重し、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解を深めている。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したことの関りについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって聴いたりしている。	主体的・協動的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	題材名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	ハーモニーを味わおう	合唱曲	a:様々な表現形態による歌唱表現の固有性や多様性を理解している。 a:表現形態の特徴や表現上の効果を生かして歌う技能を身に付けている。 a:曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりを理解している。 b: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 b:音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し,それらの働きを感受しながら,知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 c:主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 c:主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	観察 演奏の聴取 ワークシート	観察 演奏の聴取 ワークシート	観察 ワークシート
	ヴァイオリンに挑戦	「ｷﾗｷﾗ星変奏曲」 「カノン」 「喜びの歌」 「アレグロ」 他	a:曲想と楽器の音色や奏法との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解している。 a:曲にふさわしい奏法,身体の使い方などの技能を身に付けている。 b: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:主体的・協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	観察 演奏の聴取 ワークシート	観察 演奏の聴取 ワークシート	観察 ワークシート
	芸術歌曲に親しもう①	イタリア歌曲	a:曲想と音楽の構造や歌詞, 文化的・歴史的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解している。 a:曲にふさわしい発声, 言葉の発音, 身体の使い方などの技能を身に付けている。 b: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	観察 演奏の聴取 ワークシート	観察 演奏の聴取 ワークシート	観察 ワークシート
	総合芸術の魅力を探ろう ～ オペラに挑戦 ～	鑑賞 オペラ 「ヘンゼルとグレーテル」	a:曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりを理解している。 b:音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し,それらの働きを感受しながら,知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 c:主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	観察 演奏の聴取 ワークシート	観察 演奏の聴取 ワークシート	観察 ワークシート
2学期		「ヘンゼルとグレーテル」他重唱曲	a:様々な表現形態による歌唱表現の固有性や多様性を理解している。 a:表現形態の特徴や表現上の効果を生かして歌う技能を身に付けている。 a:曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりを理解している。 b: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 b:音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し,それらの働きを感受しながら,知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 c:主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 c:主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	観察 発表 ワークシート	観察 発表 ワークシート	観察 ワークシート 発表
	芸術歌曲に親しもう②	ドイツ・リート	a:曲想と音楽の構造や歌詞, 文化的・歴史的背景との関わり及びその関わりによって生み出される表現上の効果を理解している。 a:曲にふさわしい発声, 言葉の発音, 身体の使い方などの技能を身に付けている。 b: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	観察 演奏の聴取 ワークシート	観察 演奏の聴取 ワークシート	観察 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	日本の伝統音楽	三線	a:創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な曲にふさわしい奏法、身体の使い方などの技能を身に付けている。 b: 音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫している。 c: 主体的・協動的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 演奏の聴取	観察 ワークシート 演奏の聴取	観察 ワークシート
３学期	音楽会をしよう	編曲 (自由演奏課題に向けて)	a: 音素材，音を連ねたり重ねたりしたときの響き，音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について，表したいイメージと関わらせて理解を深めている。 b: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。 主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。	観察 ワークシート 発表	観察 ワークシート 発表	観察 ワークシート 発表
		自由演奏課題	a:様々な表現形態による歌唱または器楽の表現の固有性や多様性を理解している。 a:表現形態の特徴や表現上の効果を生かして演奏する技能を身に付けている。 a:曲想や表現上の効果と音楽の構造との関わりを理解している。 b: 音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 b:音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し，それらの働きを感受しながら，知覚したことと感受したこととの関わりについて考えるとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 c:主体的･協働的に歌唱または器楽の学習活動に取り組もうとしている。 c:主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度